



平成25年12月10日

各 位

会 社 名	J ト ラ ス ト 株 式 会 社
代表者の役職名	代表取締役社長 藤澤信義
(コード番号	8 5 0 8 )
(上場取引所	東京証券取引所 市場第2部)
問い合わせ先	取 締 役 常 陸 泰 司
電 話 番 号	0 3 - 4 3 3 0 - 9 1 0 0

### 株式会社整理回収機構に対する借入金等の債務の完済に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社グループ各社の株式会社整理回収機構（以下、「RCC」といいます。）に対する借入金等の債務（下記「2. 弁済する借入金の内容」に詳細の記載を行っております。）について、一括して期限前の弁済（以下、「本件弁済」といいます。）を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 期限前一括弁済の理由

当社グループは、かつて日本振興銀行株式会社（以下、「IBJ」といいます。）から、融資を受けており、同行の破綻後、IBJの当社グループ向けの債権（以下、「RCC借入金」といいます。）は、RCCに移管された為、当社グループの意図に反して、RCCを介して公的支援を受けているかのような誤解を受ける状況になっております。

また、借入の条件においても、日銀の金融緩和の影響などを受けて長期金利は低位で推移する傾向にある中、RCC借入金について鑑みると、長期の期限の利益を有しているとはいえ、借入金利は4%であることから、現時点においては、有利とまではいえない条件となっております。

加えて、当社子会社である株式会社クレディア（以下、「CRE」といいます。）は、当社がCREを子会社化する以前に、RCCとの間で、RCCの第三者に対する貸付（以下、「第三者貸付」といいます。）に対して物的担保を提供する契約（以下、「CRE担保提供契約」といいます。）を締結しておりました。当社は、CREを子会社化する際に、CRE担保提供契約によって生じる可能性のあるリスクを見積もり、当該リスクに対して引当金の計上を行い、偶発債務に備えて参りました。

このような状況の全てを解消するために、当社グループは、RCC借入金のすべてを一括して期限前の弁済を行うとともに、別途、第三者貸付に対して6億円の弁済を行うことによってCRE担保提供契約を解除することをRCCとの間で合意し、CRE担保提供契約によって生じる可能性のあるリスクの解消に至ったものです。

## 2. 弁済する借入金の内容（平成25年12月10日現在）

（単位：円）

借入会社	借入金利	最終弁済月	弁済金額
Jトラスト株式会社	4.0%	平成31年12月	12,055,651,329
株式会社日本保証	4.0%	平成31年 8月	3,460,354,448
株式会社クレディア	4.0%	平成31年 9月	5,043,821,599
株式会社ブレイク	4.0%	平成31年12月	1,020,806,033
合 計			21,580,633,409

※弁済金額は、経過利息含む。

※その他、第三者貸付に対して6億円の弁済を行うことによってCRE担保提供契約を解除することを予定しており、弁済総額は、221億円となります。

## 3. 弁済原資について

本件弁済に関しましては、平成25年5月14日付公表の「ライツ・オフアリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）に関するお知らせ」でご案内いたしました第4回新株予約権の権利行使により調達いたしました資金の一部として145億円を充当し、その余は手元資金で賄います。

## 4. スケジュール

平成25年12月10日 取締役会決議  
担保の解除に関する合意書の締結  
借入金等の債務の弁済

## 5. 今後の見通し

本件弁済により、今後、当社連結及び個別業績において、RCC借入金による支払利息の負担がなくなるとともに（ご参考：前年度通期のRCC借入金に係る支払利息 約9億円）、平成26年3月期第3四半期連結累計期間において、偶発債務の解消による債務保証損失引当金戻入として約30億円を販売費及び一般管理費から控除する予定です。

なお、これにより、平成26年3月期の通期業績におきましては、営業利益、経常利益、当期純利益とも約30億円の増加が見込まれますが、平成25年11月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり業績予想数値の開示を見送らせていただいております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

以 上